

表1 神経芽細胞種のスクリーニングと死亡率との関連のまとめ

論文著者(出版年)	地域	年齢	指標	検査方法	比較群		検診群			
					症例数	死亡率	症例数	死亡率	死亡率の比 95%信頼区間など	
検診地区と対照地区の比較										
Shilling (2002)	ドイツ	12-60ヶ月	10万対累積死亡率	定量法	24	1.2	検診地域・全体	33	1.4	1.17
							検診地域・受診者	17	1.3	1.08
							検診地域・未受診者	16	1.5	1.25
Woods (2002)	カナダケベック州	8歳未満	10万対標準化死亡率比	定性法	期待死亡数		ケベック	22	4.78	
					オンタリオ	19.8				1.11 (0.64-1.92)
					ミネソタ	24.4	4.33			0.90 (0.48-1.70)
					フロリダ	15.7	5.29			1.40 (0.81-2.41)
					デラウェア	22.8	3.33			0.96 (0.56-1.66)
					ケベックを除くカナダ	15.8	4.86			1.39 (0.85-2.30)
					ケベック・検診実施前	22.5	-			0.98 (0.54-1.77)
					カナダ全体・検診実施前	21.2	-			1.04 (0.64-1.69)
検診の受診者と未受診者の比較										
Yamamoto (2002)	7県	6-59ヶ月	10万対累積死亡率	定性法	15	3.84		19	2.53	0.66 (0.33-1.30) P=0.30
				定量法	3	3.20		9	1.97	0.62 (0.17-2.29) P=0.73
久繁・後向き(2001)*	25道府県	6-11ヶ月	100万人年対死亡率	定性法	1	3.31		2	1.08	0.326 (0.030-3.595)
		1-3歳			12	7.51		31	3.11	0.415 (0.212-0.810)
		4-7歳			3	2.46		15	2.17	0.880 (0.255-3.040)
久繁・前向き(2001)	全都道府県	6ヶ月-7歳	100万対累積死亡率	定量法	16	34.025		48	18.55	0.55 (報告数値より推計)
Suita (2002)	九州	6ヶ月-3歳	10万人年対死亡率	定性法	9	0.727		15	0.181	0.249 (0.109-0.568)
水田(1999)	4地区	0-5歳	10万対累積死亡率	定量法	0	0		7	1.4	- P=0.556
		6ヶ月-5歳	10万対累積死亡率	定量法	5	2.92		19	2.01	0.69 (報告数値より推計)
検診の実施前と実施後の時期の比較										
Yamamoto (2002)	7県	6-59ヶ月	10万対累積死亡率	検診前	30	4.21				
				定性法				34	2.98	0.71 P=0.21
				定量法				12	2.18	0.52 P=0.07
Nishi (1997)	札幌市	1-4歳	10万対累積死亡率	検診前	14	6.21				
				定性法				3	4.88	0.79 (P>0.05)
				定量法				1	1.05	0.17 (P<0.05)
Suita (2002)	九州	0-5歳	10万対累積死亡率	検診前	14	2.1				
				定性法				7	1.4	0.67 P=0.419、検診群は受診者
Asami (1995)	新潟県	0-5歳	10万対累積死亡率	検診前	9	5.9				
		0-5歳		定性法				6	4.5	0.47
		0-4歳		定量法				0	0	0.00
味木 (1998)	7府県市	1-4歳	10万対累積死亡率	検診前	147	3.5				
				定性法				37	2.6	0.8 (0.5-1.0)
				定量法				24	1.4	0.4 (0.3-0.6)
Ajiki (1998)	大阪府	1-4歳	10万対累積死亡率	検診前	59	3.87				
				定性法1				21	3.94	1.02 (0.63-1.55)
				定性法2				7	2.39	0.62 (0.25-1.27)
				定量法				6	3.30	0.85 (0.31-1.86)
Honjo (2003)	大阪府(除大阪市)	0-14歳	100万人年対年齢調整死亡率	検診前	88	4.3				
				定性法				19	5.4	1.26
				定量法1				12	4.0	0.93
				定量法2				15	4.1	0.95 Trend P>0.05

\* 数値はHayashi, et alより引用

表2 罹患率・進行病期・検診実施後の年齢

論文著者(出版年 地域)	年齢	指標	比較群		検診群		罹患率の比	95%信頼区間など
			症例数	罹患率	症例数	罹患率		
<b>検診地区と対照地区の比較</b>								
Shilling (2002) ドイツ	12-60ヶ月	10万対累積罹患率	74	3.8	定量法	50	3.7	0.97 4期・全年齢・検診地区は受診者 1.52 3期と4期、95%CI (0.95-2.23)
Woods (1996) カナダケベック州	12-71ヶ月	10万対標準化罹患率比	-	-	定性法	22	-	
<b>検診の受診者と未受診者の比較</b>								
久繁(2001) 25道府県	1-4歳	10万人年対罹患率	-	1.046	定量法	-	0.357	0.342 4期、95%CI (0.202-0.576) 0.623 4期、95%CI (0.129-2.997)
	5-7歳		-	0.249		-	0.155	
Suita (2002) 九州	1-5歳	10万対累積罹患率	1	1.1	定量法	11	2.3	2.09 3期と4期、P=0.735
水田 (1996) 4地区	1-5歳	10万対累積罹患率	4	2.9	定量法	31	4.1	1.22 3期と4期、95%CI (0.46-3.20)
Yamamoto (2002) 7県	12-59ヶ月	10万対累積罹患率	15	3.84	定性法	28	3.72	0.97 4期、P>0.05
			4	4.26	定量法	18	3.94	0.92 4期、P>0.05
<b>検診の実施前と実施後の時期の比較</b>								
Suita (2002) 九州	1-5歳	10万対累積罹患率	18	3.1	定量法	11	2.3	0.74 P=0.38、3期と4期、検診群は受診者 0.61 P>0.05、3期と4期
太田 (1996) 滋賀県	1歳以上	10万人年対罹患率	10	0.82	定性定量	3	0.50	
Honjo (2003) 大阪府(除大阪市)	1-14歳	100万人年対年齢階級別罹患率	32	2.4	定性法	12	3.8	1.58 4期、Trend P>0.05
			13	2.4	定量法1	7	2.7	1.13
					定量法2	9	2.9	1.21

表3 罹患率・全病期・全年齢

論文著者(出版年 地域)	年齢	指標	比較群		検診群				
			症例数	罹患率	症例数	罹患率	罹患率の比	95%信頼区間など	
検診地区と対照地区の比較									
Shilling (2002) ドイツ	12-60ヶ月	10万対累積罹患率	143	7.3	定量法	204	14.2	1.94	検診群は受診者 2.17 (1.79-2.57)
Woods (1996) カナダケベック州	0-71ヶ月	10万対標準化罹患率比	-	-	定性法	118	-		
検診の受診者と未受診者の比較									
久繁(2001) 25道府県	0-7歳	10万対累積罹患率 (報告数値より推計)	-	11.634	定量法	-	20.017	1.72	
Suita (2002) 九州	0-5歳	10万対累積罹患率 (報告数値より推計)	11	11.8	定量法	82	16.9	1.43	
検診の実施前と実施後の時期の比較									
Yamamoto (2002) 7県	0-59ヶ月	10万対累積罹患率	70	9.82	定性法	162	14.18	1.44	P=0.01
Nishi (1997) 札幌市	0-4歳	10万対累積罹患率	27	11.97	定量法	143	25.98	2.65	P<0.0001
					定性法	15	24.41	2.04	
Suita (2002) 九州	0-5歳	10万対累積罹患率 (報告数値より推計)	41	6.1	定性法	19	19.89	1.66	
					定量法	82	16.9	2.77	検診群は受診者
Asami (1995) 新潟県	0-5歳	10万対累積罹患率	16	10.5	定性法	25	18.6	1.77	
百名 (1999) 沖縄県	0-6歳	10万人年対罹患率	11	1.28	定量法	21	22.1	2.10	
					定性法	11	3.49	2.73	
太田 (1996) 滋賀県	-	10万人年対罹患率	14	0.97	定性定量	17	2.84	2.93	
味木 (1998) 7府県市	0-4歳	10万対累積罹患率	326	8.20	定性法	159	12.0	1.5	(1.2-1.7)
					定量法	328	20.8	2.5	(2.3-2.8)
Ajiki (1998) 大阪府	0-4歳	10万対累積罹患率	125	8.20	定性法1	59	11.06	1.35	(1.03-1.74)
					定性法2	42	14.34	1.75	(1.26-2.36)
					定量法	50	27.51	3.35	(2.49-4.42)
Honjo (2003) 大阪府(除大阪市)	0-14歳	100万人年対年齢調整罹患率	149	7.4	定性法	46	15.2	2.05	Trend P<0.05
					定量法1	61	23.5	3.18	
					定量法2	87	26.8	3.62	

表4 罹患率・全病期・検診実施年齢

論文著者(出版年 地域)	年齢	指標	比較群		検診群				
			症例数	罹患率	症例数	罹患率	罹患率の比	95%信頼区間など	
検診地区と対照地区の比較									
Shilling (2002)	ドイツ	12-24ヶ月	10万対累積罹患率	68	3.2	定量法	-	10.9	3.41
Woods (1996)	カナダケベック州	0-11ヶ月	10万対標準化罹患率比	-	-	定性法	81	-	2.85 (2.26-3.50)
検診の受診者と未受診者の比較									
久繁(2001)	25道府県	1歳未満	10万人年対罹患率	-	6.680	定量法	-	32.592	4.879 (3.125-7.618)
Suita (2002)	九州	6ヶ月-1歳	10万対累積罹患率	2	2.2	定量法	68	14.0	6.36 P<0.01
検診の実施前と実施後の時期の比較									
Yamamoto (2002)	7県	6-11ヶ月	10万対累積罹患率	8	1.12	定性法	65	5.69	5.08 P<0.0001
Nishi (1997)	札幌市	0歳	10万対累積罹患率	5	2.22	定量法	98	17.81	15.90 P<0.0001
						定性法	9	14.65	6.62
Suita (2002)	九州	6ヶ月-1歳	10万対累積罹患率	4	0.6	定量法	15	15.71	7.08
						定量法	68	14.0	23.33 P<0.0001
百名 (1999)	沖縄県	0歳	10万人年対罹患率	2	0.32	定量法	8	3.1	9.69
味木 (1998)	7府県市	0歳	10万対累積罹患率	83	2.1	定性法	63	4.8	2.3 (1.8-2.9)
						定量法	172	11.0	5.3 (4.5-6.1)
Ajiki (1998)	大阪府	0歳	10万対累積罹患率	35	2.30	定性法1	17	3.19	1.39 (0.81-2.22)
						定性法2	22	7.51	3.27 (2.05-4.95)
						定量法	36	19.80	8.63 (6.04-11.94)
Honjo (2003)	大阪府(除大阪市)	0歳	100万人年対年齢階級別罹患率	36	24.4	定性法	20	95.7	3.92 Trend P<0.01
						定量法1	35	184.5	7.56
						定量法2	59	240.2	9.84

付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など
Shilling (2002)	検診地区(の受診者)と対 照地区の比較 10万対累積罹患率	定量法 ドイツ全国 全病期			
		12-60ヶ月、対照地区	143	7.3 (6.1-8.5)	
		検診地区の受診者	204	14.2 (12.2-16.1)	
		12-24ヶ月、対照地区		3.2 (2.4-3.9)	
		検診地区の受診者		10.9 (9.3-12.6)	
		25-60ヶ月、対照地区		4.1 (3.2-5.0)	
		検診地区の受診者		3.3 (2.3-4.3)	
		4期・12-60ヶ月			
		対照地区	74	3.8 (2.9-4.6)	
		検診地区の全体	105	4.4 (3.6-5.3)	
		検診地区の受診者	50	3.7 (2.7-4.7)	
		検診地区の未受診者	55	5.4 (4.0-6.8)	
		10万対累積死亡率	12-60ヶ月		
		対照地域	24	1.2 (0.7-1.7)	
検診地域・全体	33	1.4 (0.9-1.9)			
検診地域・受診者	17	1.3 (0.7-1.8)			
検診地域・未受診者	16	1.5 (0.8-2.3)			
Woods (1996)	検診地区と対照地区の比 較 基準地区の罹患率に基づ く期待値と実測値の比較 10万対標準化罹患率比 (SIR)	定性法 カナダ・ケベック州 全病期、基準地区はSEER			
		0-71ヶ月、ミネソタ対照地区	43	1.13 (0.82-1.50)	
		オンタリオ対照地区	80	0.93 (0.74-1.14)	
		ケベック検診地区	118	2.17 (1.79-2.57)	
		0-11ヶ月、ミネソタ対照地区	17	0.86 (0.50-1.31)	
		オンタリオ対照地区	40	0.89 (0.64-1.19)	
		ケベック検診地区	81	2.85 (2.26-3.50)	
		12-71ヶ月、ミネソタ対照地区	26	年齢階級によりSIR 0.22-1.92	
		オンタリオ対照地区	40	年齢階級によりSIR 0.54-1.48	
		ケベック検診地区	37	年齢階級によりSIR 0.96-6.69	
		3期と4期、12-71ヶ月、基準地区はDelaware Valley			
		ミネソタ対照地区	16	1.59 (0.91-2.46)	
		オンタリオ対照地区	30	1.32 (0.89-1.84)	
		ケベック検診地区	22	1.52 (0.95-2.23)	
Woods (2002)	検診地区と対照地区の比 較 10万対累積死亡率	定性法 カナダ・ケベック州 8歳未満			
		ケベック	22	4.78	
		オンタリオ		4.33	
		ミネソタ		5.29	
		フロリダ		3.33	
		デラウェア		4.86	
		基準地区の死亡率に基づ く期待値と実測値の比較 10万対標準化死亡率比 (SMR)	8歳未満		
		オンタリオ	19.8	1.11 (0.64-1.92)	
		ミネソタ	24.4	0.90 (0.48-1.70)	
		フロリダ	15.7	1.40 (0.81-2.41)	
		デラウェア	22.8	0.96 (0.56-1.66)	
		ケベックを除くカナダ	15.8	1.39 (0.85-2.30)	
		ケベック・検診実施前	22.5	0.98 (0.54-1.77)	
		カナダ全体・検診実施前	21.2	1.04 (0.64-1.69)	

付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など	
Yamamoto (2002)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較 10万対累積罹患率	定性法と定量法 7県(青森・宮城・新潟・滋賀・兵庫・埼玉・三重) 全病期				
		0-59ヶ月、検診実施前	70	9.82		
		定性法期	162	14.18	P=0.01	
		定量法期	143	25.98	P<0.0001	
		6-11ヶ月、検診実施前	8	1.12		
		定性法期	65	5.69	P<0.0001	
		定量法期	98	17.81	P<0.0001	
		12-59ヶ月、検診実施前	52	7.29		
		定性法期	67	5.86	P=0.28	
		定量法期	35	6.36	P=0.60	
		10万対累積死亡率	6-59ヶ月			
		検診実施前	30	4.21		
		定性法期	34	2.98	P=0.21	
		定量法期	12	2.18	P=0.07	
		検診受診者と未受診者の比較 10万対累積罹患率	全病期 定量法期、6-11ヶ月			
		未受診者	5	5.33		
		受診者の全体	93	20.37	P=0.003	
		受診者の検診発見(真陽性)	90	19.72		
		受診者の臨床発見(偽陰性)	3	0.66	P=0.003	
		定量法期、12-59ヶ月				
未受診者	4	4.26				
受診者の全体	31	6.79	P=0.51			
受診者の検診発見(真陽性)	6	1.31				
受診者の臨床発見(偽陰性)	25	5.48	P=0.83			
IV期 定性法期、12-59ヶ月						
未受診者	15	3.84				
受診者	28	3.72	P>0.05			
定量法期、12-59ヶ月						
未受診者	4	4.26				
受診者	18	3.94	P>0.05			
10万対累積死亡率	定性法期、6-59ヶ月					
未受診者	15	3.84	RR(95%CI)			
受診者	19	2.53	0.66(0.33-1.30) P=0.30			
定量法期、6-59ヶ月						
未受診者	3	3.20				
受診者	9	1.97	0.62(0.17-2.29) P=0.73			
久繁 (2001)	検診受診者と未受診者の比較(後ろ向き) 10万人年対罹患率	定量法 25道府県 全病期				
		1歳未満、未受診者		6.680	RR(95%CI)	
		受診者		32.592	4.879(3.125-7.618)	
		1-4歳、未受診者		1.793		
		受診者		0.814	0.454(0.310-0.665)	
		5-7歳、未受診者		0.374		
		受診者		0.155	0.476(0.107-1.605)	
4期						
1歳未満、未受診者		2.338	RR(95%CI)			

付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など
				受診者	1.949 0.834(0.371-1.873)
			1-4歳、未受診者	受診者	1.046
			5-7歳、未受診者	受診者	0.357 0.342(0.202-0.576)
				受診者	0.249
				受診者	0.155 0.623(0.129-2.997)
	100万人年対死亡率 (Hayashi, et al)	6-11ヶ月			
			未受診者	1	3.31 RR(95%CI)
			受診者	2	1.08 0.326(0.030-3.595)
		1-3歳			
			未受診者	12	7.51 RR(95%CI)
			受診者	31	3.11 0.415(0.212-0.810)
		4-7歳			
			未受診者	3	2.46 RR(95%CI)
			受診者	15	2.17 0.880(0.255-3.040)
久繁 (2001)	検診受診者と未受診者の 比較(前向き) 10万人年対死亡率	定量法 全都道府県 6ヶ月-3歳			
			未受診者	9	0.727 RR(95%CI)
			受診者	15	0.181 0.249(0.109-0.568)
Nishi (1997)	検診の実施前の時期と実 施後の時期の比較 10万対累積罹患率 検診前の罹患率を基準と する期待値と実測値の比 較(O/E比)	定性法と定量法 札幌市 全病期			
		0-4歳、検診実施前	27	11.97	O/E比
		定性法期	15	24.41	2.04(P<0.05)
		定量法期	19	19.89	1.66(P<0.05)
		0歳、検診実施前	5	2.22	
		定性法期	9	14.65	6.62(P<0.05)
		定量法期	15	15.71	7.08(P<0.05)
		1-4歳、検診実施前	22	9.75	
		定性法期	6	9.77	1.00(P>0.05)
		定量法期	4	4.19	0.43(P>0.05)
	10万対累積死亡率	0-4歳、検診実施前	15	6.65	O/E比
		定性法期	4	6.51	0.98(P>0.05)
		定量法期	2	2.09	0.31(P>0.05)
		0歳、検診実施前	1	0.44	
		定性法期	1	1.63	3.67(P>0.05)
		定量法期	1	1.05	2.36(P>0.05)
		1-4歳、検診実施前	14	6.21	
		定性法期	3	4.88	0.79(P>0.05)
		定量法期	1	1.05	0.17(P<0.05)
Suita (2002)	検診の実施前の時期と実 施後の時期の比較 10万対累積罹患率	定量法 九州 全病期			
		0ヶ月-5歳、検診実施前	41	6.1	報告数値より算出
		検診実施後の受診者	82	16.9	報告数値より算出
		6ヶ月-1歳、検診実施前	4	0.6	
		検診実施後の受診者	68	14.0	P<0.0001
		1-5歳、検診実施前	27	4.0	
		検診実施後の受診者	14	2.9	P=0.306
		3期と4期			
		1-5歳、検診実施前	18	3.1	
		検診実施後の受診者	11	2.3	P=0.380
	10万対累積死亡率	0ヶ月-5歳			
		検診実施前	14	2.1	

付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など
		検診実施後の受診者	7	1.4	P=0.419
	検診受診者と未受診者の比較	全病期			
	10万対累積罹患率	0ヶ月-5歳、未受診者	11	11.8	報告数値より算出
		受診者	82	16.9	報告数値より算出
		6ヶ月-1歳、未受診者	2	2.2	
		受診者	68	14.0	P<0.01
		1-5歳、未受診者	2	2.2	
		受診者	14	2.9	P=0.959
		3期と4期			
		1-5歳、未受診者	1	1.1	
		受診者	11	2.3	P=0.735
	10万対累積死亡率	0ヶ月-5歳			
		未受診者	0	0	
		受診者	7	1.4	P=0.556
Asami (1995)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較	定性法と定量法 新潟県 全病期			
	10万対累積罹患率	0-5歳、検診実施前	16	10.5	
		0-5歳、定性法期	25	18.6	P>0.05
		0-4歳、定量法期	21	22.2	P<0.05
	10万対累積死亡率	0-5歳、検診実施前	9	5.9	
		0-5歳、定性法期	6	4.5	
		0-4歳、定量法期	0	0	
百名 (1999)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較	定量法 沖縄県 全病期			
	10万人年対罹患率	0-6歳、検診実施前	11	1.28	
		検診実施後	11	3.49	P<0.05
		0歳、検診実施前	2	0.32	
		検診実施後	8	3.1	P<0.05
		1-6歳、検診実施前	9	0.96	
		検診実施後	3	0.39	P>0.05
太田 (1996)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較	定性法と定量法 滋賀県 全病期			
	10万人年対罹患率	全年齢、検診実施前	14	0.97	
		検診実施後	17	2.84	P>0.05
		3期と4期			
		1歳以上、検診実施前	10	0.82	
		検診実施後	3	0.50	P>0.05
水田 (1996)	検診受診者と未受診者の比較	定量法 北海道(除札幌市)・宮城・埼玉・九州 全病期、1-5歳			
	10万対累積罹患率	未受診者	9	5.3	併合OR(95%CI)
		受診者	44	4.7	0.78(0.36-1.71)
		3期と4期、1-5歳			
		未受診者	4	2.9	併合OR(95%CI)
		受診者	31	4.1	1.22(0.46-3.20)
	10万対累積死亡率	6ヶ月-5歳			
		未受診者	5	2.92	(報告数値を単純加算して推計)
		受診者	19	2.01	



付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など	
味木 (1998)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較 10万対累積罹患率 検診前の罹患率を基準とする期待値と実測値の比較(O/E比)	定性法と定量法 7府県市 全病期			O/E比(95%CI)	
		0-4歳、検診実施前	326	8.2	1.0	
		定性法期	159	12.0	1.5(1.2-1.7)	
		定量法期	328	20.8	2.5(2.3-2.8)	
		0歳、検診実施前	83	2.1	1.0	
		定性法期	63	4.8	2.3(1.8-2.9)	
		定量法期	172	11.0	5.3(4.5-6.1)	
		1-4歳、検診実施前	243	6.1	1.0	
		定性法期	96	7.2	1.2(1.0-1.4)	
		定量法期	155	9.9	1.6(1.4-1.9)	
		10万対累積死亡率	0-4歳、検診実施前	160	3.8	1.0
		定性法期	41	2.9	0.8(0.5-1.0)	
		定量法期	27	1.6	0.4(0.3-0.6)	
		0歳、検診実施前	13	0.3	1.0	
		定性法期	4	0.3	0.9(0.3-2.4)	
		定量法期	3	0.2	0.6(0.1-1.7)	
		1-4歳、検診実施前	147	3.5	1.0	
定性法期	37	2.6	0.8(0.5-1.0)			
定量法期	24	1.4	0.4(0.3-0.6)			
Ajiki (1998)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較 10万対累積罹患率 検診前の罹患率を基準とする期待値と実測値の比較(O/E比)	定性法と定量法 大阪府 全病期			O/E比(95%CI)	
		0-4歳、検診実施前	125	8.20	1.00	
		定性法期1	59	11.06	1.35(1.03-1.74)	
		定性法期2	42	14.34	1.75(1.26-2.36)	
		定量法期	50	27.51	3.35(2.49-4.42)	
		0歳、検診実施前	35	2.30	1.00	
		定性法期1	17	3.19	1.39(0.81-2.22)	
		定性法期2	22	7.51	3.27(2.05-4.95)	
		定量法期	36	19.80	8.63(6.04-11.94)	
		1-4歳、検診実施前	90	5.90	1.00	
		定性法期1	42	7.87	1.33(0.96-1.80)	
		定性法期2	20	6.83	1.16(0.71-1.79)	
		定量法期	14	7.70	1.30(0.71-2.19)	
		10万対累積死亡率	0-4歳、検診実施前	63	4.13	1.00
		定性法期1	24	4.50	1.09(0.70-1.62)	
		定性法期2	11	3.76	0.91(0.45-1.63)	
		定量法期	6	3.30	0.80(0.29-1.74)	
0歳、検診実施前	4	0.26	1.00			
定性法期1	3	0.56	2.14(0.43-6.26)			
定性法期2	4	1.37	5.21(1.40-13.33)			
定量法期	0	0.00	0.00(0.00-7.69)			
1-4歳、検診実施前	59	3.87	1.00			
定性法期1	21	3.94	1.02(0.63-1.55)			
定性法期2	7	2.39	0.62(0.25-1.27)			
定量法期	6	3.30	0.85(0.31-1.86)			
Honjo (2003)	検診の実施前の時期と実施後の時期の比較 100万人年対年齢調整罹患率	定性法と定量法 大阪府(除大阪市) 全病期、0-14歳				
		検診前1	111	7.8		
		検診前2	38	6.5		
		定性法	46	15.2		
		定量法1	61	23.5		

付表 神経芽細胞種スクリーニングと罹患率および死亡率に関する研究のまとめ

論文著者	研究デザインと指標	時期や集団の特性など	症例数	率	95%信頼区間など
		4期、1-14歳	定量法2	87	26.8 Trend P<0.05
			検診前1	32	2.4
			検診前2	13	2.4
			定性法	12	3.8
			定量法1	7	2.7
			定量法2	9	2.9 Trend P>0.05
100万人年対年齢調整死亡率		0-14歳	検診前1	55	3.9
			検診前2	33	5.4
			定性法	19	5.4
			定量法1	12	4.0
			定量法2	15	4.1 Trend P>0.05
検診地区と対照地区の比較	定性法と定量法	大阪府(除大阪市)と英国			
100万人年対年齢調整死亡率		0-14歳			
標準化死亡率比(SRR)		検診前(1970/71-1984)			SRR(95%CI)
		英国	774	5.3	1.23(1.22-1.24)
		大阪	88	4.3	1.00
		検診後(1985-1994)			
		英国	498	-	1.11(0.95-1.28)
		大阪	46	-	1.00